

校長室の窓から (*^_^*) 行事に向かう姿 ～金木犀(きんもくせい)の香る頃～

自宅近くで金木犀の香りがふと鼻をくすぐる頃、学校は本格的な行事の季節を迎えます。小体連、マラソン記録会、歌舞伎練習、そして児小中文化祭——。子どもたちが全身で季節を感じ、心を躍らせる姿があちこちにあふれています。何事にもまっすぐに取り組む本校の子どもたちの姿に、私はいつも心を打たれます。がむしゃらに走る姿、届けと言わんばかりに歌う声、友達と笑い合う表情——そのすべてが、まるで大好きな金木犀の香りのように、私の心を満たしてくれます。

見ているだけでうれしくて、見ているだけで応援したくなり、時には見ているだけで込み上げてくる。そんな感情が自然と湧き上がるのは、きっと、子どもたちの姿に「希望」そのものを見ているからなのだと思います。子どもたちの純粋さは、我々大人の心を洗い、前へ進む力をくれるように感じます。金木犀の香りが消える頃、子どもたちはまた一つ成長し、季節は冬へと向かいます。その一瞬一瞬を、大切にしながら、子どもたちの未来にそっと灯をともしていきたい。そんな思いを胸に、今日も校門をくぐります。

